

# 林原美術館

# NEWS

Vol.

# 12

平成18年10月1日

## 特別展

### 「林原国際芸術祭

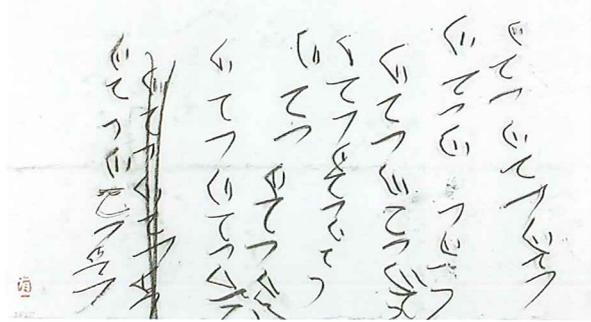
### 希望の星、文字を描く」

(主催)社)林原共済会・(財)林原美術館  
平成18年10月7日(土)～11月12日(日)

(財)林原美術館館長 熊倉功夫

今年度後半は、特別展・企画展とも意欲的な企画が続きます。特別展「文字を描く」については次頁の西村陽平氏の文章をお読みいただきたいと思いますが、併せて展示する現代の書・井上有一の作品について少し述べておきます。

井上有一は若き日に書家としてすぐれた技術を体得していますが、ある時からそのすべてを否定し、書道界の既成の概念を打破る書の活動を始めます。「デタラメ書き」と称する筆法は、己の生命の根元から湧きあがるものを、そのまま紙にぶちまけたもので、見る人の魂を揺さぶるものがあります。文字や書の技法を超えて溢れでてきた所に、この特別展の作品に共通するものがあるといえましょう。



井上有一「ぐてつ」

## 企画展

### 「絵画に見る行列」

平成18年11月18日(土)～12月24日(日)

現在の岡山市東山に岡山東照宮があります。江戸時代には春または秋に祭礼が行われていました。今回は当館所蔵の「東照宮祭礼絵巻」から、祭礼の内容や当時の様子を紹介します。東照宮の祭礼を中心に、江戸時代の行列を描いた絵画を展示します。(土井原)



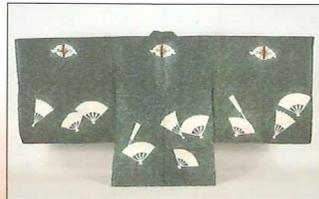
葛蒲賦物絵巻(部分)

## 企画展

### 「備前池田家伝来 狂言装束」

平成19年1月6日(土)～2月11日(日)

今回は林原美術館ではじめての狂言装束展を開催します。当館は多くの備前池田家伝来の狂言装束を所蔵しています。狂言装束には能装束とは異なった魅力があり、なんと言つても「染め」の優れた染織技法が我々を魅了します。新春を迎え、狂言の「初笑い」を感じていただければ幸いです。(宮尾)



釘と鎧地に扇散し文様素襦

## 企画展

### 「岡山ゆかりの文化財

### 「閑谷学校と藩校を中心に」

平成19年2月17日(土)～3月25日(日)

江戸時代に開校した閑谷学校は、庶民に開かれた日本初の学校です。その閑谷学校と岡山藩の藩校の資料で、当館に収蔵される書跡や絵画を中心に、学校の創設に関わった、池田光政や熊沢蕃山に関係する資料を展示します。また、岡山出身の作家による工芸品や絵画も展示し、岡山で育まれた文化を振り返ってみてみたいと思います。(浅利)



菊花虫図菓子器 正阿弥勝義作

二〇〇六 林原国際芸術祭、希望の星、  
特別展「文字を描く」——風の工房を訪ねて——

日本女子大学教授 西村陽平

「幸せだった」。数点立て掛けられた書の中に、この文字があった。素朴な文字の形とともに不思議な感慨に捉えられた。林原国際芸術祭、希望の星の展覧会「文字を描く」の出品作品の調査で、長野県真田町の福祉施設「風の工房」を訪ねた時のことだ。アトリエというよりは、作業場という方がふさわしい場所、主に知的障害をもった人たちが芸術活動を行っている。狭い部屋の壁には、多くの絵や書が掛けられている。床には制作途中の絵などが、ところ狭しと置かれている。ただ一人、机に向かつて絵を描いている人がいた。お土産として渡されたラムネ菓子入りの恐竜のフィギュアの入った赤い箱をじつと眺めて、この箱もらつていいのかわ度も聞いてくる。どうやら中身よりも箱に興味があるようだ。以前、知的障害をもった人がコンクールで入賞し、賞金をもらったことがあった。その人は、中のお金

を捨てて、のし袋を大事にしていたという話を思い出した。



風の工房

「風の工房」の書には、思い出がある。長野オリピックが開かれた時、パリンピックも開かれたのだが、その時芸術祭も同時に開催された。障害をもっている人の美術コンクールが開かれ、「風の工房」から出品された書「がんばらない」が入選した。審査員の中には、書は芸術ではないという人もいたが、「がんばる」ということが当たり前のように思われている風潮の中で、「がんばらない」というメッセージが逆説的な意味で有効であるように感じられ、入選にしたことがあった。その後、このことは広く知られるようになり、本のタイトルにも使われている。八年を経て、今度は制作現場で「がんばらない」に出会うことになった。しかし、今回は、「幸せだった」ということばに強くひかれた。作者の宮下宜績さんは、「神様のおくりもの」「私はわたしである」という書も書いていた。

「風の工房」の書には、思い出がある。長野オリピックが開かれた時、パリンピックも開かれたのだが、その時芸術祭も同時に開催された。障害をもっている人の美術コンクールが開かれ、「風の工房」から出品された書「がんばらない」が入選した。審査員の中には、書は芸術ではないという人もいたが、「がんばる」ということが当たり前のように思われている風潮の中で、「がんばらない」というメッセージが逆説的な意味で有効であるように感じられ、入選にしたことがあった。その後、このことは広く知られるようになり、本のタイトルにも使われている。八年を経て、今度は制作現場で「がんばらない」に出会うことになった。しかし、今回は、「幸せだった」ということばに強くひかれた。作者の宮下宜績さんは、「神様のおくりもの」「私はわたしである」という書も書いていた。



「風の工房」の書

林原国際芸術祭、希望の星は、今年で三回目の展覧会になる。林原共済会が二〇〇三年に創設し、世界的な芸術活動を行っている障害のある方を応援するとともに、その芸術活動を通じて世界の人々の心をつなぎ、喜びを共有する活動として始められた。今年も、林原美術館での展覧会に先立ち、イベントとして七月二五日から三〇日まで東京、表参道ヒルズの「ギャラリー80」で展示が行われた。今、東京で一番人気の場所であり、通りに面したギャラリーはガラス張り、ショーウィンドウのような効果もあった。観光スポットということもあり、海外からの旅行者も多い。観光で日本に来られたチェコスロバキアの若い女性は、「私はわたしである」という作品を一目見て気に入られた。もちろん、この日本語の意味はおわかりにならない。墨の線の形やバランスなどを見て判断されたわけだが、不思議なことに西洋の人にとっても、絵のように魅力的に見えたようだ。画家のアンリ・ミシヨは、書のように見える絵を描いている。彼は、漢字にとっても興味をもっていたようだ。一九三〇年から一九三三年にかけてアジアを旅したときのことを書いた彼の著作「アジアを訪れた野蛮人」には、「(中国人は)要素を寄せ集め、風景として描き出す、なかなかおとな趣味をもっていたこととがわかる。」と漢字について書いている。ミシヨには、漢字が風景のように見えたのだろうか。チェコスロバキアからの女性は、「私はわたしである」の書を持って国へ帰られた。

What's New

本年度上半期の展覧会報告

企画展 「近代の絵画と工芸」

4月8日(土)～5月28日(日)

このテーマでの展覧会は約五年ぶりとなりました。近年、明治時代の万国博覧会や工芸品に注目が集まっており、従来よりも工芸品に重点をおいた展示を行いました。

また会期中、「近代の美術と風俗」のテーマで熊倉館長の講演会が行われました。約八〇名が参加し、熱心に講演に耳を傾けていました。(浅利)



講演会風景

企画展

「東アジアのやきもの」

6月3日(土)～7月30日(日)

本展では、当館所蔵の陶磁器の中から、「東アジアの陶磁器の流れ」という視点で、中国・朝鮮・日本の陶磁器を展示しました。

主な作品は中国の漢代から清代のもので、やきものの歴史を紐解く内容でした。当館は今回紹介した作品の他に、多くの陶磁器を所蔵しており、今後も皆様にご紹介していきたいと考えています。(宮尾)



展示風景

お花見会と花見弁当について

平成18年4月1日には、はじめてお花見会を開催しました。今年の桜は思いがけず開花が遅れ、いささか調子が狂いました。京都のルネサンスの中にある日本料理「京いち」から、料理長の関東氏が出張して、見事な花見弁当を提供していただきました。さらに友の会限定ということで、特別にお椀と梅酒「献をつけていただき、熊倉館長の花見の講話を行いました。わずかに、三輪咲き出した桜が、この他、心に残りました。



お花見会風景

第六回 美術館周遊の旅について

平成18年7月17日、NHK大河ドラマ「功名が辻」の舞台である高知を訪れました。天候が心配される中、林原駐車場を出発して一路高知を高くへ。その後天候は回復し、まずは高知県立美術館を見学。特別展「造形集団海洋堂の軌跡」で、海洋堂が製作した食玩や模型・造形師の作品を見学し、昼食は土佐の鰹料理に舌鼓をうちました。午後は、高知県立文学館で特別展「山内一豊とその妻」を訪れ、当館出品作品も併せて見学。最後に訪れた高知城天守閣では一豊の気分を味わい、周遊の旅を楽しみました。



高知県立文学館前にて

ギャラリートーク始めました!

今年六月の「東アジアのやきもの」展より、各企画展の会期中の毎週土曜日14時から、当館学芸員によるギャラリートークを開催しています。企画展を担当した学芸員が、企画意図や個々の展示品についてお話しします。また疑問点などを直に学芸員に聞いたりでき、展覧会が一層面白くなります。当館にお越しの際には、ぜひご参加ください。



ギャラリートーク風景

喫茶コーナー、リニューアルのお知らせ

昨年末から休止していましたが当館の喫茶コーナーが、四月より待望のリニューアルオープンいたしました。セルフサービスになり、以前に比べ格段に美味しくなると評判のコーヒーや、「きび大福」とともにいただくお抹茶を、ぜひ一度ご賞味ください。皆様のご利用をお待ちしています。

◎営業時間

9時～16時30分

(ラストオーダー)

◎メニュー

抹茶(菓子付)

コーヒー各種

紅茶・アイステイ

各250円



喫茶コーナー

今後のイベント情報

秋のお月見鑑賞会と中国音楽の夕べ

10月6日の中秋の名月にちなみ、当館でお月見会を開催いたします。当館展示室にて琵琶と笛による中国音楽の演奏を聞いて頂いた後、熊倉館長が月をめぐる日本文化について講演を行います。その後、庭園でお月見をしながら月餅と中国茶を楽しんで頂きます。更にご希望の方には、別料金にて特別料理をレストラン福幸(ルネサンス岡山)にてご賞味頂けます。

日時 平成18年10月6日(金)

17時30分～19時30分

演奏者 池英等氏(笛)・何晶氏(琵琶)

解説 今井康雄氏

講話 「月と日本文化」 熊倉功夫(当館館長)

定員 60名(要予約・友の会会員対象)

参加費 3,500円

第四回 ワークショップ「文字を描く」

本年度当館の特別展、「林原国際芸術祭、希望の星―文字を描く―」の関連事業として、左記の通りワークショップを開催いたします。

特別展に作品を出品している奈良県「たんぼの家」で、書の指導をされている書家の南明容氏を講師に迎え、文字を描く・体験を試みていただきます。

日時 平成18年10月21日(土)

13時～14時30分

会場 林原美術館 ロビー

対象 障害をもつ方、その介助者、施設担当者、

関心のある一般の方

定員 15名

参加費 無料

※ご自分の作品はお持ち帰りいただけます。

友の会竹明庵茶会

昨秋、約160名のご参加をいただき、好評いただきました茶会を、今年も左記の通り開催いたします。昨秋同様、熊倉功夫館長が亭主をつとめ、お水屋を数田宗枝先生が担当いたします。なお詳細については、後日ご案内いたします。



茶室 竹明庵

日時 平成18年11月18日(土)・19日(日)

場所 林原美術館 茶室 竹明庵

定員 各80名

参加費 1,000円

※参加は友の会会員に限定させていただきます。

特別講演会

企画展「備前池田家伝来 狂言装束」(平成19年1月6日(土)～2月11日(日))にちなみ、能や狂言などの芸能史研究で知られる、関西大学文学部教授の関屋俊彦氏をお招きして、特別講演会を開催いたします。狂言の歴史や作品に関するお話のみならず、実際に即興と小謡を混ぜながらの、賑やかな講演会になる予定です。皆様のご参加をお待ちしております。なお詳細は後日ご案内いたします。

日時 平成19年1月20日(土)

13時30分～15時

演題 「狂言と小謡」

講師 関屋俊彦氏(関西大学文学部教授)

場所 岡山県立図書館 2階 多目的ホール

定員 120名

参加費 友の会会員300円 一般500円

事務局長就任のご挨拶

この度伝統ある林原美術館にお世話に成ることになりました。私は昭和36年入社以来林原の製造技術部門で新製品の工業化に携わって参りましたが、林原のメセナ活動の一翼を担い、林原の品格を示す最高の舞台を与えられましたことに感謝致して居ります。皆様のご協力を得て伝統に磨きを掛けていきたいと思っております。どうぞ叱咤ご指導の程を御願ひ申し上げます。(事務局長 小川 明)



●「友の会」募集のご案内●

当館では友の会会員を募集しております。各展覧会の入場料金割引(会員及び同伴者名)に加え、展覧会の案内状・「林原美術館ユース」(年2回発行)・その他イベント情報などを随時送付いたします。友の会会員優先や限定のイベントもごあります。ご入会の申し込みおよび詳細は、美術館スタッフまでお尋ねください。

◎会員の種類・年会費

個人会員	1年	3,000円(新規)
		2,700円(入会継続)
法人会員	3年	7,000円
	1年	30,000円(新規)
		27,000円(入会継続)
	3年	70,000円

◎有効期限

- ・1年会員 平成18年4月1日～平成19年3月31日
- ・3年会員 平成18年4月1日～平成21年3月31日

後記編集

第12号の「美術館ユース」をお届けいたします。今年度後半は、特別展と3つの企画展を軸に、お月見会・ワークショップ・お茶会・特別講演会といったイベントも盛りだくさんとなっております。スタッフ一同頑張りますので、皆様のご来館・ご参加をお待ちいたしております。(A)

〒700-0823 岡山市丸の内二七七一五

財団法人 林原美術館

TEL 086-331-7333  
FAX 086-331-3089

http://www.hayashibara-museumofart.jp